

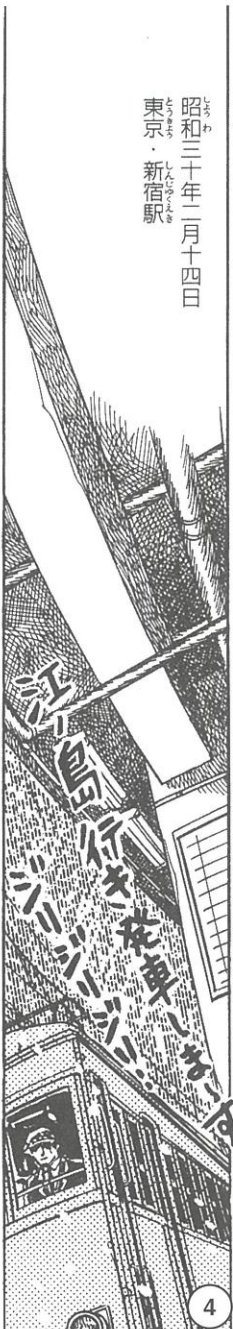
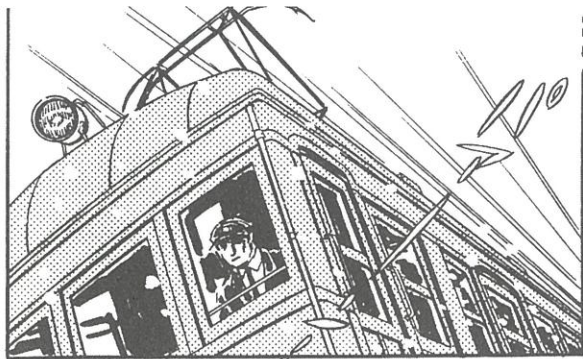
すばらしき人生

田原米子ストーリー



画・まどか まこ

昭和三十年二月十四日
東京・新宿駅





nana=nana=

ほらほら
そんなにくつついたら
あぶないよ!



お母さんは
何でも知って
るから
大きいスキ!



お父さん
米子は
高校生の
くせに
まるで子供
だから
だからが
心配だわ

うん
お母さん
だったから
な……



あのね……
おかあ……
……さ……

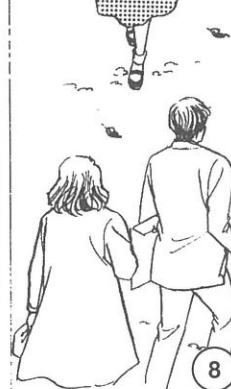


ただいまー



いやだー
お母さん死んじやう
なんていやだー







私は
何のために
生きているんだろう……

お母さんみたいに
死んでしまつたら
みんな終わりじゃない！

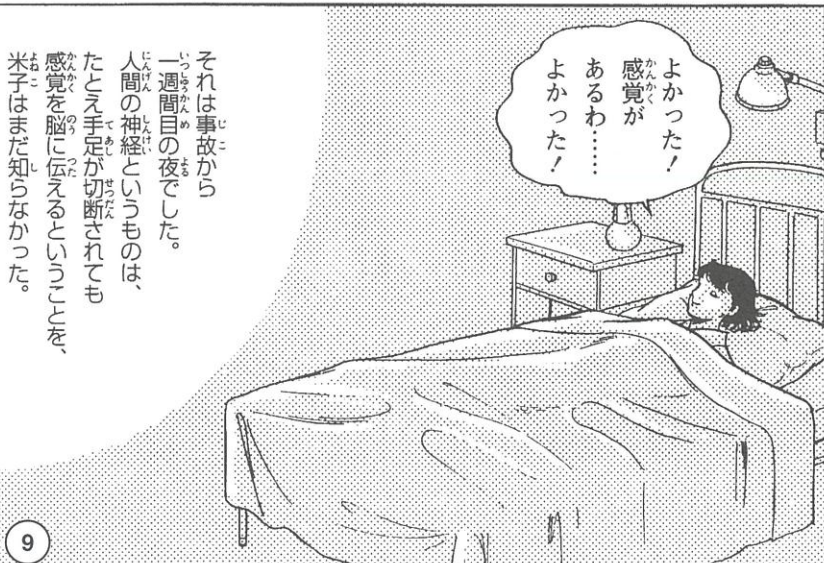
お母さん……お母さん……
お母さん……お母さん……

教え……



し 死な
なかつた
んだ……

う 動けない
麻酔がきいて
るんだわ……
手や足は
大丈夫だろう
か……



よかつた！
感覚が
あるわ……
よかつた！

それは事故から
一週間目の夜でした。
人間の神経というものは、
たとえ手足が切断されても
感覚を脳に伝えるということ、
米子はまだ知らなかった。

そして数日後、
自分の三肢が切断され
右手の指が三本だけしか
残されていない現実と
対面したのです。



こんな体で
どうやって生きろ
つていうのよ！
先生どうして
私を助けたんですか！
殺してください！
殺してください！



あなたは とても助かる
状態じゃなかった
でもこうして生きている
それは奇跡なんですよ
だから
生きなければ
ならないんですよ



こんな体で
生きるのは
私にとって地獄
じゃないですか！
残酷です！

残酷です！



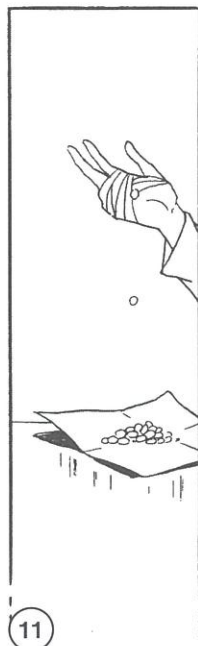
せんせい、ゆうめいな
先生は有名な
お医者さま
なんですよ
ほんなら
あの夜、病院に
いらつしやるはず
じゃなかったのに
幸運でした

ほんとに……
ありがとう
ございました



あのこが
あんなに
思いつめて
いたなんて
知りません
でした

これからは
なるべく
人目をさけて
私が一生、面倒を
見ていきます



そして眠れないと
いっては、睡眠薬を
あつめていたのです。

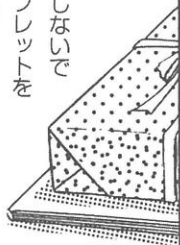


おとこ、けがは
米子の傷は
日増しに回復
していきましたが
心の中は絶望
ばかり見つめて
いました。

やがて睡眠薬が
致死量に達する頃、
二人の見知らぬ訪問者が
ありました。



その日、二人は
宗教の押売りもしないで
手みやげとパンフレットを
置いて帰りました。



宗教なんて
みんな同じよ！
人の弱味につけこむ
だけじゃないの！



キヨウハ
サンビカ
ウタイマス



そのまた次の週末
やって来ました。



そして次の週末…



私（わたし）がずっと
冷たくして
いるのに
この二人は
何とも思わな
いのかしら…





明るく親切
そうにしても
私はだまされ
ないわよ

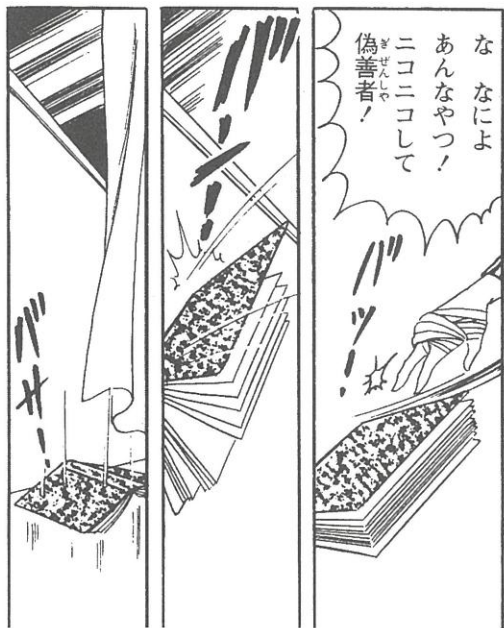


それに何よ！
田原つて男
いつも同じ服装で
さえないかっこう

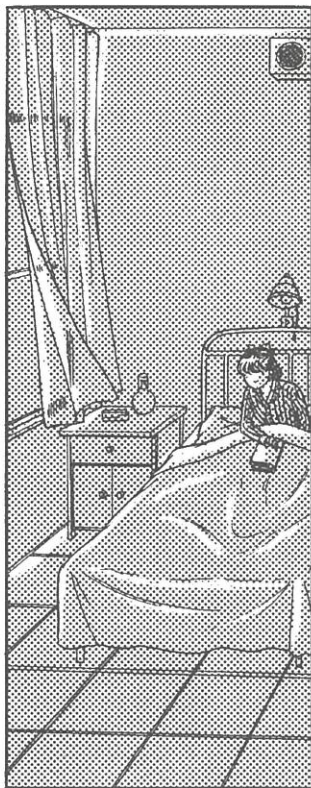


思い出す
たびに
ムカムカ
するわ

じゃあ
米子さん
また来週
来ます



なになによ
あんなやつ！
ニコニコして
偽善者！









でも 今さら
こんな体で
人生をやり直す
なんてできないわ

私には可能性が
何一つ残っていない
もの……



米子さん
神さまは
あなたの
ありのままを
愛しておられ
るんですよ

……
ありのまま

そうです
あなたが何か
できるからでは
ないんです



あなたの
そのままを
愛しておられ
るんです
そして あなたを
生かしたい
助けたい
幸せになつて
ほしいと思つて
おられるのです

幸せ……
こんな体の
私に幸せ
が……

神さまは人間を
罪や死から救うために、
ひとり子であるイエスさまを
この地上に送られたのです。

そして、イエスさまは
あなたや、私や、全人類の
罪のために身代わりとなって
十字架上で死んでくださったのです。

しかし、三日目によみがえり、
死を打ち破って
くださったのです。
ですから、イエスさまを信じる
者には、新しい神の命と
新しい生き方を
与えてくださるのです。

イエスさまが
ほんとうに
神さまの
ひとり子なのか
どうか 私に
教えてください
ウソだったら
このまま
死にます



神さま
助けてください!

私には生きる
希望が何もありません
人の迷惑になる
くらいなら死んだ
ほうがましです

でも…あなたが
ほんとうに生きて
いけと言われるん
だったら…助けて
ください…神さま…



その夜、米子は初めて祈りました。
それは祈りというよりも、叫びに近いものでした。



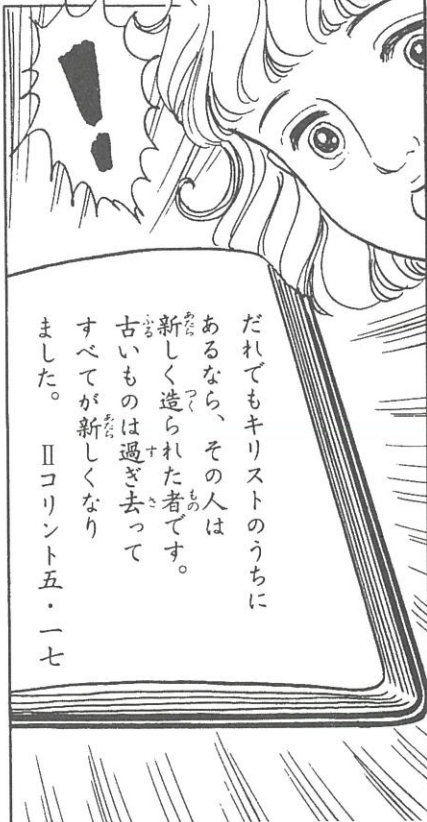


そんな…
でも…祈りって
ほんとう
本当にきかれる
のかしら？



ゆうべの
祈りの答え
だわ！

ゆうべまでの私は
古いもので 今日からの
私はすべてが新しく
されたんだわ！



だれでもキリストのうちに
あるなら、その人は
新しく造られた者です。
古いものは過ぎ去って
すべてが新しくなり
ました。 II コリント五・一七

そ それに私 よく見ると
指が三本もあるじゃない!

看護婦さん
エンピツを貸してください!

米子は一夜にして変えられました。
そして、生きたいという
気が湧き出てきたのです。

ほら見て!
エンピツだって
握れるし
字だって
書けるわ!

まあ!

何でもできるように
右手の指が三本
残っているわ

三本しかじゃ
なくて
三本もあるのよ!
神さま……
感謝します!



米子の存在は
病院中の者たちを
明るくはげまし、
生きる勇気を
与えました。



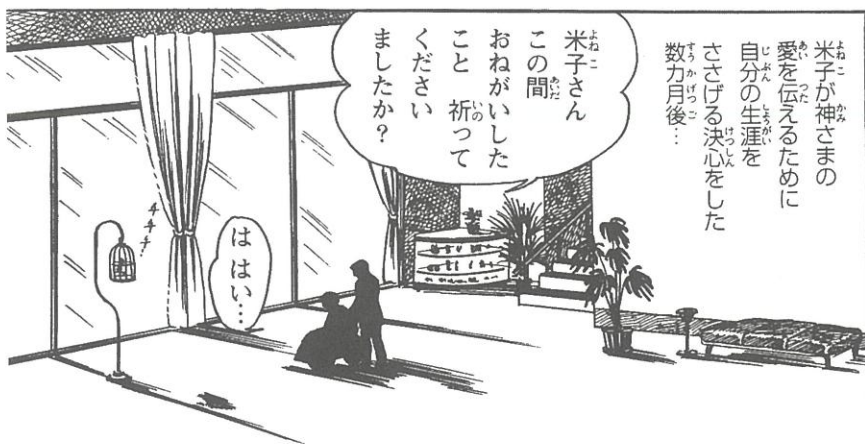
うーん

お父さん
米子ったら
いったいどう
したのかしら



私はこの喜びを
みんなに知って
もらいたい

私にだって何が
できるといふことを
知ってもらいたいの！



米子さん
この間
おねがいました
こと 折って
ください
ましたか？

米子が神さまの
愛を伝えるために
自分の生涯を
ささげる決心をした
数ヶ月後…

私もです
これが私の
祈りの答えです



あれから
一週間祈って
神さまの
お言葉を
いただきました

私も！
私も同じ
お言葉を
与えられました！



二人の者が地上で願ひ
ごとについで心を一つにして
祈るならば天におられる
父はそれを見かねて
下さいます。
マタイ18・19

二人がいつしよに
なるようにという
神さまの御心だと
確信できるね



こうして、信仰によって
二三歳と一九歳の若い二人は、
あらゆる障害を乗り越え
固く結ばれたのです。

その後、米子とは
義足で日常生活を送り、
二人の子供を出産しました。



あれから三十数年。

その間に二人の子供も

成長し、自立しました。

今では夫婦で海外にまで

伝道と講演に出かけ、

人々に希望の光を与え

つつけている毎日です。





だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。
 古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

(コリント人への手紙第二 5章 17節)

●田原米子

1937年、東京生まれ。高校3年生のときに鉄道自殺を図り、奇跡的に生命をとりとめる。その数カ月後、キリストを救い主として受け入れる。のちに、田原昭肥氏と結婚し、二女を育て上げる。現在、千葉県市川市でご主人と共に伝道の働きに携わる一方、講演家としても広く用いられている。

わが造り主、イエス・キリストよ。極限まで我を救って下さい。できる限りのもっともすばらしい、愛情の深き、喜びに溢れ、平安に満ちた、わくわくさせ、興奮させるような、意味深き有益な人生を我に与える目的で、わが全存在に力強く神の全能のご聖霊を遣わして下さい。イエス様、み顔を我に向け、極限までわが上に神の輝いているご栄光を照らして下さい。わが内に正しい良い心をお造り下さい。これから、我がまことの神のみ言葉をちゃんと聞き、み言葉をしっかり守り、よく耐えて、実を結べるように我を導いて助けて祝福して下さい。最悪の運命が救い主キリストを拒んで、死んでから裁き主なるキリストによって地獄の火の池の暗やみの中に放り出され、そこで、とこしえまでも、望みのないままで、泣いて、歯ぎしりするのです。我は周りにいる皆さんにそれを警告すべきです。その務めをする為に、我を聖霊の情けと力と勇気で満たして下さい。アーメン